



十津川村立十津川中学校 学校だより 9月

令和5年9月27日
文責 前木伸一

～ 不撓不屈 令和5年度第12回文化祭 ～

9月16日(土)は本校12回目の文化祭を行いました。暑い一日でしたが、約100名の保護者・地域の皆さまを迎え、生徒たちは練習の成果を発揮し、舞台発表、作品発表、全校合唱に取り組みました。舞台発表の感想等を簡単ですがお伝えします。

○1年生 〈 十津川盆踊り 〉

総合学習の時間に、地域の踊り保存会の方から学んだ踊りを披露してくれました。ユネスコ無形文化遺産に登録された村の伝統文化に関する内容であり、地域の方も喜ばれたと思います。1年生の皆さんには、今年の発表を土台とした来年、再来年の発表を期待します。

○2年生 〈 十津川戦隊 トツチュージャー!!! 〉

「発表の場に慣れてきた」という印象を持ちました。作成した動画も本格的で感心しました。クイズあり、小道具や衣装を準備しての劇ありと内容盛りだくさんの発表で楽しませてくれました。今後も十津川中の笑顔と平和を守るために頑張ってください。

○3年生 〈 Super Mashiyo Brothers 〉

3年間の積み上げを感じる発表でした。授業中の劇は台本がよくできており、それぞれの持ち味を活かした役割分担が笑いを倍増させてくれました。ダンスも澁刺(はつらつ)と踊り、観衆を楽しませてくれました。感染症制限がない最高学年としての文化祭を目一杯楽しんでくれました。

○マークパンサー (有志発表)

「マークパンサー」は剣道部員で構成されています。平成28年度の剣道部員が文化祭有志発表で「マークパンサー」として登場して以来、毎年出場してくれています。今年はダンスが中心でした。

○んん改 (有志発表)

昨年に続き、一人でピアノを弾きながら歌ってくれました。1年間ですいぶん成長したピアノの音色と歌声を2曲披露してくれました。2曲目は1つ上の先輩が作ってくれた曲でした。

○全校合唱『君をのせて』『時の旅人』

2曲とも全校生徒が3つのパート(ソプラノ・アルト・男声)に分かれ、混声三部合唱を聞かせてくれました。最後の出し物にふさわしい歌声で、目頭が熱くなるほど感動しました。



中学生の皆さん、
素晴らしい時間を有難うございました。
皆さんは「可能性のかたまり」です。
今後も多くの経験を積み、
よりよい成長に繋げてください。

～ 長い2学期を有意義に過ごすために ～

～ 9月1日(金) 始業式の講話より ～

2学期は行事が多くあります。でも一番多いのは「授業」です。充実した2学期にするためには、まず「日々の授業を大切に」してください。授業の授という字は「さずかる」と読みます。お金では買えない大切なものを与えられる。いただくという意味です。授業を通してたくさん大切なことを学んでください。そして、良い授業は先生一人で作れるものではありません。教室にいる全員が自分事として参加することで、良い授業が成立すると思います。そのうえで多くの行事、部活動などに前向きに取り組んでほしいと思います。

皆さんにとって実り多い2学期になることを期待しています。

